

## 峠越えツアー(万坂峠・斑尾高原) 終わる

9月12～13日、峠越えツアーが行われました。今回の参加者数は8名でした。初日の予定は直江津駅からスタート、南下して県97を走る予定でした。しかしながら朝からあいにくの雨で、安全を考慮してコースを変更し、妙高高原駅で下車、県96、504から斑尾高原を目指すことになりました。妙高高原駅で自転車を組み立て、駅前の食堂で少し早めの昼食をとりスタート。県96の県境を過ぎてJR信越線の踏切を越えたところで上りが始まります。ところどころで蕎麦畑の白い花が刈り取り前の稲の風景に変化を与えてくれます。小雨に降られながら途中休憩を取り、ゆっくりと上っていきました。タングラムスキーサーカスのリゾート風景のなかを抜け、最後の上りを上りきったところが万坂峠です。そのまま峠をやり過ごし、斑尾高原に到着。斑尾高原ホテルの前(標高1000m弱)まで来ると、千曲川をはさんで向こうに見える、木島平方面の景色が一気に広がりました。正確に言うと野沢温泉方面から木島平村、中野市上空に広がる雲を上から見た形で見ごとな雲海が広がっていたのです。みなそれぞれが声を上げて感動していました。宿の「サンパティック斑尾」では温泉につかった後は夜の懇親会で盛り上がりました。翌日は朝から快晴で、宿を出た後、近くの喫茶店で店先に出されたテーブルを囲み、高原の澄んだ空気を吸いながらコーヒータイトと洒落込みました。旅先の充実したひと時を感じさせます。その後、希望湖<sup>のぞみ</sup>に寄り、初日に予定していた県97を下って行きました。樽本の集落を抜けるあたりは、人里はなれた山村独特の雰囲気があります。そのまま順調に下り、新井駅から輪行で帰路につきました。



2009.09.12 / 斑尾高原ホテルの前にて

## 納会サイクリングのご案内

JR新潟駅出発、宿までのサイクリングを企画しました。新潟市で開催されている「水と土の芸術祭2009」を巡ります。2つの大河が運んできた水と土とともに生きる新潟平野の文化をアート作品に感じながら、湯田上温泉まで走ります。参加希望の方は当日集合場所にお集まりください。

1. 実施日 10月31日(土)
2. 集合 8:30 JR新潟駅南口交流広場 雨天中止  
8:45 スタート
3. コース 新潟駅南口 鳥屋野瀧長瀧の森周辺(作品番号44、45、46)・ハート・オブ・フィスタック 親松排水機場 信濃川大橋 大野(作品番号49、50) 県141(作品番号51、52、53) 白井橋 道の駅花夢里新津 R460 新津・秋葉公園(昼食)(作品番号65、66) 五泉市 県41 石油の世界館 小須戸の町屋・町並み 県1 旧用水ポンプ 田上 湯田上温泉末廣館(宿)  
全行程約45km

新潟駅まで輪行の場合

長岡駅6:51 新潟駅着8:05 新発田駅7:37 新潟駅着8:15

4. 問い合わせ 新潟県サイクリング協会担当 涌井 秀行 TEL 025-271-8809

## 関東甲信越ブロックサイクリングラリーin山梨終わる

第45回を迎えた通称「関ブロラリー」が9月27日(日)～28日(月)に山梨県石和温泉で開催されました。「関ブロラリー」は、関東甲信越の1都9県の各サイクリング協会が持ち回りで毎年行っている行事で、サイクリストの交流を目的に行われています。

今年集まった人数は総勢127名でした。今大会の主旨は「別無工夫 べつにくふうなし」と言い、日々の道を、坦々と、その一踏みに楽しみを見出す、ということで、石和温泉近郊を走ってきました。鉄道王と知られている根津嘉一郎の実家「根津記念館」に寄ったり、ぶどう園を営むぶどう店でぶどうを食べたりしながら、のんびりとした走りを楽しんできました。

閉会式では、山梨県サイクリング協会から、来年の開催県である新潟県サイクリング県協会へ、ブロック協会旗の受け渡しが行なわれました。

ヒルクライム、ロングライド、グランfondなど多くのイベントが開催され、定着してきています。これからはまた基本に立ち返り、自立した1人のサイクリストとして“旅”を楽しむことが見直されてくるとことと楽しみです。 次回は年賀状にてスキーの集いのご案内となる予定です。



NCA ニュースへの  
情報連絡送付先

〒950-0166 新潟市江南区旭4-3-12 橋本 明  
TEL 025-381-6045  
E-mail [z1te27@sage.ocn.ne.jp](mailto:z1te27@sage.ocn.ne.jp)